

長野図書館に質問です！

～レファレンス事例編～

質問1・質問2・質問3

図書館では、知りたいことがあり、調べてみたけれど情報がどこにあるかわからないときなど、司書が可能な限り調べ、図書館にある資料を主体に情報を提供するサービスをしています。これをレファレンスサービスといいます。

過去に長野図書館で受け付けたレファレンスサービスをまとめてみました。ぜひご活用ください。

【凡例】

- ★ () 内は本の背についているラベル。置いてある場所を示しています。
- ★ ラベルに“R”がついている、または“館内”というシールが貼られている本は貸出できません。館内でご利用ください。
- ★ 貸出できない本でも、必要な部分のコピーはできます (1枚…10円)。

質問 1

質問 1	<p>信濃毎日新聞に掲載された善光寺仁王像の運搬の様子の記事が見たいです。</p> <p>大正 8 年 5 月頃の信濃毎日新聞に掲載されたようだけれど…</p>
探し方	<p>① 大正 8 年 5 月の信濃毎日新聞に掲載されているとのこと。 →長野図書館には大正時代の新聞の所蔵がありません。</p> <p>②信濃毎日新聞データベースを利用して該当の記事の検索。 →検索範囲の年代を大正時代にしぼり、「仁王」「仁王像」の 1 点でキーワード検索 →記事がヒットしません。</p> <p>③大正 8 年 5 月の紙面一覧から、1 日ずつ紙面を確認。 →該当する記事を発見しました。</p>
質問 1 回 答	<p>信濃毎日新聞 1919(大正 8)年 5 月 11 日朝刊 5 面に該当記事の掲載があります。</p>

- ★ 長野図書館 2 階カウンター・南部図書館カウンターにてお申込み頂くと、信濃毎日新聞データベースを利用することができます。



質問 2

質問 2	<p>長野市立長野図書館に善光寺領の境界石があります。</p> <p>その境界石の説明の標柱が建っているが、下のほうが埋まっていて読めません。</p> <p>なにが書かれているのですか。</p>
探し方	<p>①長野図書館の所在地は長野市長門町です。キーワード「長門町」で資料検索。</p> <p>→『長門町百周年記念誌』(N213/ナ)</p> <p>該当資料を確認。</p> <p>→P248 に「なお市立図書館正面の入口に、ご天領と松代藩の境として設けてあった。立方型の石の横につぎのようなことが書かれている。「此の石は口碑に旧善光寺領と松代領の境石なりと云う。道路拡張のため西道路角の箇所になりしを本地籍に移動せしものなり。」と刻まれた石が記念として立っている。この石は通称「さわるなの石」(別記)と言われている。」</p>
参考資料	『長門町百周年記念誌』長門町百周年記念誌／編集 (N213/ナ) 〈P248〉
質問 2 回 答	<p>「此の石は口碑に旧善光寺領と松代領の境石なりと云う。道路拡張のため西道路角の箇所になりしを本地籍に移動せしものなり。」とあり、旧善光寺領と松代領境石、通称「さわるなの石」の説明が書かれています。</p>



質問 3

質問 3	<p>長野市立長野図書館内にある「さわるなの石」について教えてください。</p>
------	--

<p>質問 3 探し方</p>	<p>①市立長野図書館の所在地は長野市長門町です。 昭和 60 年(1985 年)長野市立長野図書館開館以前、同じ場所に県立長野図書館がありました。 そのことから、キーワード「県立長野図書館」で資料検索。 →『県立長野図書館三十年史』(N016/ケ)</p> <p>該当資料を確認 →P388 に石についての記述あり。</p> <p>②長野図書館の所在地は長野市長門町です。キーワード「長門町」で資料検索。 →『長門町百周年記念誌』(N213/ナ)</p> <p>該当資料を確認。 →P247 - 249 に解説と写真あり。 →P248 に「さわるなの石」(別記)についても記述あり。</p> <p>③語り継がれているお話として資料がないか、キーワード「長野・民話」で資料検索。 →長野県内の民話が集録されている資料のうち、長野市または北信、長野県内の資料を中心に内容を確認。</p> <p>『信濃のはなし 新版』(N388/ミ) →P146 「さわるなの石」についてのお話の記載あり。</p>
<p>参考資料</p>	<p>『県立長野図書館三十年史』 県立長野図書館／編集 (N016/ケ) 〈P388〉 『長門町百周年記念誌』 長門町百周年記念誌／編集 (N213/ナ) 〈P248〉 『信濃のはなし 新版』 信濃路 1974 年出版 (N388/ミ) 〈P146〉</p>
<p>質問 3 回 答</p>	<p>質問 3 : 探し方①より</p> <p>「当時の物知りの説明で、この石は善光寺領と松代領との境の石だとかいうことになり、今でも図書館の庭にそういう説明の書かれた碑と石が立っている。」と記述があります。</p> <p>質問 3 : 探し方②より</p> <p>「此の石は口碑に旧善光寺領と松代領の境石なりと云う。道路拡張のため西道路角の箇所在りしを本地籍に移動せしものなり。」とあり、旧善光寺領縁松代領境石、通称「さわるなの石」の説明が書かれています。</p>

<p>質問 3 回 答</p>	<p>質問 3 : 探し方③より</p> <p>『信濃のはなし』のあとがきで、著者宮沢憲衛、(みやざわ・けんえい) は「幼い頃、母やばあやに聞かされた狐の話、お化けの話、さては小学校時代の国語読本の話など、耳から目から心にふれる信濃のはなし…」と記しています。</p> <p>自身が見聞きしてきた中のひとつに「さわるなの石」についてはなしがあったようです。</p> <p>「地獄に続いていると言われていた(石を)(略)図書館を作るため道路拡張の必要にせまれ、(土工が)石を掘る(略)ところがその夜、その土工は急に発熱したので大騒ぎとなり(略)おはらいをしてやっと大事なくすんだ。」と記述があります。</p>
---------------------	---



★★「さわるなの石」って長野図書館のどこにあるの??★★

「さわるなの石」は現在、長野図書館敷地内の、図書館建物南側駐輪場の西側、駐輪場と道路の間の植え込みの中にあります。

「さわるなの石」と並んで、石の説明がかかれた標柱が建っています。

【長野図書館レファレンスサービス】

- ★ 長野図書館では、知りたいことがあり、調べてみたけれど情報がどこにあるかわからないときなど、司書が可能な限り調べ、図書館にある資料を主体に情報を提供するサービスをしています。
- ★ お電話またはカウンターにて直接面談でご質問をお受けします。
- ★ お困りのことがありましたら、お声掛けください。
- ★ いただいた相談と回答は、同様の事項を調べている方の便に供するため、相談者が特定できないよう個人情報保護に十分配慮した上で、レファレンス事例として公開させていただきます。